

◎船舶料理士の資格証明に関する条約（第六十九号）

（略称）船舶料理士資格証明条約（第六十九号）

昭和二十一年六月二十七日 国際労働機関第二八回  
総会で採択

昭和二十八年四月二十二日 効力発生

昭和五十年六月二十五日 国会承認

昭和五十年七月二十九日 批准書寄託

昭和五十年九月二十日 公布及び告示

（条約第一四号及び外務  
省告示第一九二号）

昭和五十一年一月二十九日 我が国について効力発生

目次

第一 第 前 文	.....	ページ
第一条 条約の適用の対象となる船舶の範囲	.....	三三九
第二条 「船舶料理士」の定義	.....	三四〇
第三条 船舶料理士としての従事の原則	.....	三四〇

船舶料理士資格証明条約

三三八

第四条 試験の実施及び資格証明書の付与のための要件	三四〇
第五条 第三条の規定適用上の所要時限及び特例	三四一
第六条 資格証明書の承認措置	三四一
第七条 批准	三四一
第八条 効力発生	三四一
第九条 有効期間及び廃棄	三四一
第十条 批准及び廃棄の登録の通告	三四一
第十一条 國際労働事務局長の通報義務	三四一
第十二条 國際労働機関理事会の報告及び審議	三四一
第十三条 条約の改正	三四一
第十四条 正文	三四一
末文	三四一

# 船舶料理士の資格証明に関する条約（第六十九号）

Convention 69  
**CONVENTION CONCERNING THE CERTIFICATION OF SHIPS' COOKS.**

COOKS.

国際労働機関の総会は、

理事会によりシアトルに招集され、一千九百四十六年六月六日にその第二十八回会期として会合し、

その会期の議事日程の第四議題に含まれてある船舶料理士の資格証明に関する提案の採択を決定し、

その提案が国際条約の形式をとるべきであると決定して、

次の条約（引用に際しては、一千九百四十六年の船舶料理士資格証明条約と称することがある。）を一千九百四十六年六月二十七日に採択する。

## 第一条

### Article 1

船舶の範囲  
船舶の対象適用

- 1 この条約は、公有であると私有であるとを問わず、営利のために貨物又は旅客の運送に従事し、かつ、この条約の適用を受ける領域において登録されている海上航行船舶について適用する。
- 2 この条約の適用上海上航行船舶とすべき船舶又は船舶の種類は、国内法令により、又は、このような法令がない場合には、使用者と労働者との間の労働協約により定める。

1. This Convention applies to sea-going vessels, whether publicly or privately owned, which are engaged in the transport of cargo or passengers for the purpose of trade and registered in a territory for which this Convention is in force.

2. National laws or regulations or, in the absence of such laws or regulations, collective agreements between employers and workers shall determine the vessels or classes of vessels which are to be regarded as sea-going vessels for the purpose of this Convention.

「船  
舶  
料  
理  
士  
」  
の  
料  
理  
事  
務  
の  
原  
則  
と  
従  
事  
し  
て  
理  
め  
の  
食  
事  
の  
調  
理  
に  
つ  
い  
て  
直  
接  
に  
責  
任  
を  
負  
う  
者  
を  
い  
う。

この条約の適用上、「船舶料理士」とは、船舶の乗組員のための食事の調理について直接に責任を負う者をいう。

### 第三条

- 1 次の諸条の規定に従つて与えられる船舶料理士の資格証明書を有する者以外の者をこの条約が適用される船舶内において船舶料理士として従事させてはならない。
- 2 もつとも、権限のある機関は、資格証明書を有する船舶料理士が不足していると認める場合には、1の規定の適用を免除することができる。

### 第四条

- 1 権限のある機関は、試験を実施するため及び資格証明書を与えるための措置をとる。
- 2 資格証明書は、次の(a)から(c)までの要件を満たして、他の者に対しても与えてはならない。
- (a) 権限のある機関が定める最低年齢に達していること。
  - (b) 権限のある機関が定める最小限の期間海上において勤務したこと。
  - (c) 権限のある機関が定める試験に合格したこと。
- 3 所定の試験においては、受験者の食事を調理する能力につ

原の士  
船  
舶  
料  
理  
事  
務  
の  
原  
則  
と  
従  
事  
し  
て  
理  
め  
の  
食  
事  
の  
調  
理  
に  
つ  
い  
て  
直  
接  
に  
責  
任  
を  
負  
う  
者  
を  
い  
う。

### 第一条

*Article 2*

For the purpose of this Convention the term "ship's cook" means the person directly responsible for the preparation of meals for the crew of the ship.

*Article 3*

1. No person shall be engaged as ship's cook on board any vessel to which this Convention applies unless he holds a certificate of qualification as ship's cook granted in accordance with the provisions of the following articles.

2. Provided that the competent authority may grant exemptions from the provisions of this Article if in its opinion there is an inadequate supply of certificated ships' cooks.

*Article 4*

1. The competent authority shall make arrangements for the holding of examinations and for the granting of certificates of qualification.

2. No person shall be granted a certificate of qualification unless—

(a) he has reached a minimum age to be prescribed by the competent authority;

(b) he has served at sea for a minimum period to be prescribed by the competent authority; and

(c) he has passed an examination to be prescribed by the competent authority.

3. The prescribed examination shall provide a practical test

いての実技試験を行う。所定の試験は、また、食品価値、変化がありかつ適切に均衡のとれた献立の作成並びに船内における食品の取扱い及び貯蔵に関する受験者の知識についての試験を含まなければならない。

4 所定の試験及び資格証明書は、権限のある機関が直接、又は認められた料理人訓練学校その他の団体が権限のある機関の規制の下に、実施し及び与えることができる。

## 第五条

第三条の規定は、この条約が当該船舶の登録されている領域について効力を生ずる日から三年を超えない一定の期間が満了した後に、適用するものとする。ただし、当該一定の期間の満了前に料理人としての満足すべき一年間の勤務の経験を有する海員については、当該勤務に関する証明書を資格証明書と同等のものとして認めることを国内法令に規定することができる。

## 第六条

権限のある機関は、他の領域において発給された資格証明書を承認するための措置をとることがである。

## 第七条

この条約の正式の批准は、登録のため国際労働事務局長に通知する。

## Article 5

Article 4. The prescribed examination may be conducted and certificates granted either directly by the competent authority or, subject to its control, by an approved school for the training of cooks or other approved body.

of the candidate's ability to prepare meals; it shall also include a test of his knowledge of food values, the drawing up of varied and properly balanced menus, and the handling and storage of food on board ship.

## Article 6

The competent authority may provide for the recognition of certificates of qualification issued in other territories.

## Article 7

The formal ratifications of this Convention shall be communicated to the Director-General of the International Labour Office for registration.

## 効力発生

## 第八条

## Article 8

1 この条約は、国際労働機関の加盟国でその批准が事務局長に登録されたもののみを拘束する。

2 この条約は、次の諸国のうち九の国（登録された総トン数百万トン以上の船腹をそれぞれ保有する五以上の国を含むことを要する。）の批准が登録された日の後六箇月で効力を生ずる。アメリカ合衆国、アルゼンチン共和国、オーストラリア、ペルギー、ブラジル、カナダ、チリ、中国、デンマーク、フィンランド、フランス、グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国、ギリシャ、インド、アイラン、イタリア、オランダ、ノールウェー、ポーランド、ポルトガル、スウェーデン、トルコ及びユーゴースラヴィア。この規定は、加盟国によるこの条約の早期の批准を容易にし、かつ、促進するため設けられたものである。

3 その後は、この条約は、いずれの加盟国についても、その批准が登録された日の後六箇月で効力を生ずる。

## 第九条

## Article 9

1 この条約を批准した加盟国は、この条約が効力を生じた日から十年を経過した後は、登録のため国際労働事務局長に送付する文書によつてこの条約を廃棄することができる。その廃棄は、登録された日の後一年間は効力を生じない。

2 この条約を批准した加盟国で、1に定める十年の期間が満

1. This Convention shall be binding only upon those Members of the International Labour Organisation whose ratifications have been registered with the Director-General.

2. It shall come into force six months after the date on which there have been registered ratifications by nine of the following countries: United States of America, Argentine Republic, Australia, Belgium, Brazil, Canada, Chile, China, Denmark, Finland, France, United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, Greece, India, Ireland, Italy, Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Sweden, Turkey and Yugoslavia, including at least five countries each of which has at least one million gross register tons of shipping. This provision is included for the purpose of facilitating and encouraging early ratification of the Convention by Member States.

3. Thereafter, this Convention shall come into force for any Member six months after the date on which its ratification has been registered.

1. A Member which has ratified this Convention may denounce it after the expiration of ten years from the date on which the Convention comes into force, by an act communicated to the Director-General of the International Labour Office for registration. Such denunciation shall not take effect until one year after the date on which it is registered.

2. Each Member which has ratified this Convention and which does not, within the year following the expiration of the

了した後一年以内にこの条に規定する廃棄の権利を行使しないものは、更に十年間拘束を受けるものとし、その後は、十一年の期間が満了することに、この条に定める条件に従つてこの条約を廃棄することができる。

#### 第十条

1 国際労働事務局長は、国際労働機関の加盟国から通知を受けたすべての批准及び廃棄の登録をすべての加盟国に通告する。

2 事務局長は、この条約が効力を生ずるために必要な最後の批准の登録を国際労働機関の加盟国に通告する際に、この条約が効力を生ずる日につけ加盟国の注意を喚起する。

#### 第十二条

国際労働事務局長は、国際連合憲章第一百二条の規定による登録のため、前諸条の規定に従つて登録されたすべての批准及び廃棄の完全な明細を国際連合事務総長に通知する。

#### 第十三条

国際労働機関の理事会は、この条約が効力を生じた後十年の期間が満了するごとに、この条約の運用に関する報告を総会に提出するものとし、また、この条約の全部又は一部の改正に関

#### Article 10

1. The Director-General of the International Labour Office shall notify all the Members of the International Labour Organisation of the registration of all ratifications and denunciations communicated to him by the Members of the Organisation.

2. When notifying the Members of the Organisation of the registration of the last of the ratifications required to bring the Convention into force, the Director-General shall draw the attention of the Members of the Organisation to the date upon which the Convention will come into force.

#### Article 11

The Director-General of the International Labour Office shall communicate to the Secretary-General of the United Nations for registration in accordance with Article 102 of the Charter of the United Nations full particulars of all ratifications and acts of denunciation registered by him in accordance with the provisions of the preceding articles.

#### Article 12

At the expiration of each period of ten years after the coming into force of this Convention, the Governing Body of the International Labour Office shall present to the General Conference a report on the working of this Convention and shall consider the desirability of placing on the agenda

する問題を総会の議事日程に加えることの可否を審議する。

of the Conference the question of its revision in whole or in part.

## 正条約の改

### 第十三条

#### Article 13

- 1 総会がこの条約の全部又は一部を改正する条約を新たに採択する場合には、その改正条約に別段の規定がない限り、  
 (a) 加盟国によるその改正条約の批准は、その改正条約の効力発生を条件として、第九条の規定にかわらず、当然にこの条約の即時の廃棄を伴う。  
 (b) 加盟国による批准のためのこの条約の開放は、その改正条約が効力を生ずる日に終了する。
- 2 この条約は、これを批准した加盟国で1の改正条約を批准していないものについては、いかなる場合にも、その現在の形式及び内容で引き続き効力を有する。

### 第十四条

#### Article 14

この条約の英文及びフランス文は、ひとしく正文とする。

The English and French versions of the text of this Convention are equally authoritative.

以上は、千九百四十六年の最終条項改正条約によつて修正された千九百四十六年の船舶料理士資格証明条約の真正な本文である。

The foregoing is the authentic text of the Certification of Ships' Cooks Convention, 1946, as modified by the Final Articles Revision Convention, 1946.

## 末文

この条約の原本は、総会議長ヘンリー・M・ヤツクソン及び  
国際労働事務局長エドワード・J・フィーランの署名により  
千九百四十六年八月三十日に認証された。

この条約は、千九百四十七年一月一日に効力を生じていな。

以上の証拠として、私は、千九百四十六年の最終条項改正条  
約第六条の規定に従い、修正されたこの条約の原本二通を署名  
により千九百四十八年八月三十一日に認証した。

国際労働事務局長

エドワード・フィーラン

The original text of the Convention was authenticated on  
30 August 1946 by the signatures of Henry M. Jackson, Pres-  
ident of the Conference, and Edward J. Phelan, Director of the  
International Labour Office.

IN FAITH WHEREOF I have, in pursuance of the provi-  
sions of Article 6 of the Final Articles Revision Convention,  
1946, authenticated by my signature this thirty-first day of  
August 1948 two original copies of the text of the Convention  
as modified.

EDWARD PHELAN,  
*Director-General  
of the International Labour Office.*

Convention 69**CONVENTION CONCERNANT LE DIPLOME DE CAPACITE PROFESSIONNELLE DES CUISINIERS DE NAVIRE.**

La Conférence générale de l'Organisation internationale du Travail,

Convocée à Seattle par le Conseil d'administration du Bureau international du Travail et s'y étant réunie le 6 juin 1946 en sa vingt-huitième session,

Après avoir décidé d'adopter diverses propositions relatives au diplôme de capacité professionnelle des cuisiniers de navire, question qui constitue le quatrième point à l'ordre du jour de la session,

Après avoir décidé que ces propositions prendraient la forme d'une convention internationale, adopté, ce vingt-septième jour de juin mil neuf cent quarante-six, la convention ci-après, qui sera dénommée Convention sur le diplôme de capacité des cuisiniers de navire 1946 :

*Article 1*

1. La présente convention s'applique à tout navire de mer, de propriété publique ou privée, affecté pour des fins commerciales, au transport de marchandises ou de passagers et immatriculé dans un territoire pour lequel la présente convention est en vigueur.

2. La législation nationale ou, en l'absence d'une telle législation, des contrats collectifs passés entre employeurs et travailleurs définiront quelles navires ou quelles catégories de navires seront réputés navires de mer aux fins de la présente convention.

*Article 2*

**Aux fins de la présente convention, le terme « cuisinier de navire » signifie la personne directement responsable de la préparation des repas de l'équipage.**

*Article 3*

1. Nul ne peut être engagé comme cuisinier de navire à bord d'un navire sauf qu'il ait appris la présente convention s'il n'est titulaire d'un diplôme attestant son aptitude à exercer la profession de cuisinier de navire, délivré conformément aux dispositions des articles ci-après.

2. Toutefois, l'autorité compétente pourra accorder l'exception de la disposition ci-dessus au cas où, à son avis, il y aurait pénurie de cuisiniers de navire diplômés.

*Article 4*

1. L'autorité compétente prendra toutes dispositions utiles pour organiser des examens professionnels et délivrer des diplômes de capacité.

2. Nul ne pourra obtenir un diplôme de capacité :

- a) si l'il n'a atteint un âge minimum qui sera fixé par l'autorité compétente;
- b) si l'il a servi à la mer pendant une période minimum qui sera fixée par l'autorité compétente;
- c) si l'il n'a subi avec succès l'examen prescrit par l'autorité compétente.

3. L'examen prescrit doit comporter une épreuve pratique portant sur l'aptitude du candidat à préparer des repas; il doit également comprendre des épreuves portant sur la valeur nutritive des denrées alimentaires, sur l'établissement de menus variés et bien composés et sur la manipulation et l'enmagas-

nage des vivres à bord.

4. L'examen prescrit peut être organisé et le certificat délivré soit directement par l'autorité compétente soit, sous le contrôle de celle-ci, par une école de cuisine agréée ou toute autre institution agréée.

*Article 5*

L'article 3 ci-dessus prendra effet à l'expiration d'un délai ne dépassant pas trois ans à compter de la date de l'entrée en vigueur de la présente convention pour le territoire dans lequel le navire est immatriculé; toutefois, dans le cas d'un marin qui a accompli deux années de service satisfaisant en qualité de cuisinier avant l'expiration de la période susmentionnée, la législation nationale pourra prévoir la reconnaissance d'un certificat attestant cet emploi comme l'équivalent d'un diplôme de capacité.

*Article 6*

L'autorité compétente peut prévoir la reconnaissance des diplômes de capacité délivrés dans d'autres territoires.

*Article 7*

Les ratifications formelles de la présente convention seront communiquées au Directeur Général du Bureau international du Travail et par lui enregistrées.

*Article 8*

1. La présente convention ne liera que les Membres de l'Organisation internationale du Travail dont la ratification aura été enregistrée par le Directeur Général.

2. La présente convention entrera en vigueur six mois après la date à laquelle auront été enregistrées les ratifications de tous les pays suivants : Etats-Unis d'Amérique, Argentine, Australie, Belgique, Brésil, Canada, Chili, Chine, Danemark, Finlande, France, Royaume-Uni de Grande-Bretagne et d'Irlande du Nord, Grèce, Inde, Irlande, Italie, Norvège, Pays-Bas, Pologne, Portugal, Suède, Turquie et Yougoslavie, étant entendu

que de ces neuf pays, cinq au moins devront posséder chacun une marine marchande d'une large branche d'au moins un million de tonnes enregistrées. Cette disposition a pour but de faciliter, encourager et faire la ratification de la présente convention par les Etats Membres.

3. Par la suite, la présente convention entrera en vigueur pour chaque Membre six mois après la date où sa ratification aura été enregistrée.

#### Article 9

1. Tout Membre ayant ratifié la présente convention peut la dénoncer à l'expiration d'une période de dix années après la date de la mise en vigueur initiale de la convention, par un acte communiqué au Directeur général du Bureau international du Travail et par lui enregistré. La dénonciation ne prendra effet qu'une année après avoir été enregistrée.

2. Tout Membre ayant ratifié la présente convention qui, dans le délai d'une année après l'expiration de la période de dix années mentionnée au paragraphe précédent, ne fera pas usage de la faculté de dénonciation prévue par le présent article pour la nouvelle période de dix années et, par la suite, sera lié pour une nouvelle période à l'expiration de chaque période de dix années dans les conditions prévues au présent article.

#### Article 10

1. Le Directeur général du Bureau international du Travail notifiera à tous les Membres de l'Organisation internationale du Travail l'enregistrement de toutes les ratifications et dénoncations qui lui seront communiquées par les Membres de l'Organisation.

2. En notifiant aux Membres de l'Organisation l'enregistrement de la dernière ratification nécessaire à l'entrée en vigueur de la convention, le Directeur général appellera l'attention des Membres de l'Organisation sur la date à laquelle la présente convention entrera en vigueur.

#### Article 11

Le Directeur général du Bureau international du Travail communiquera au Secrétaire général des Nations Unies aux fins d'enregistrement, conformément à l'article 102 de la Charte des Nations Unies, des renseignements complets au sujet de toutes ratifications et de tous actes de dénonciation qu'il aura enregistrés conformément aux articles précédents.

#### Article 12

A l'expiration de chaque période de dix années à compter de l'entrée en vigueur de la présente convention, le Conseil d'administration du Bureau international du Travail devra présenter à la Conférence générale un rapport sur l'application de la présente convention et décider si il y a lieu d'inscrire à l'ordre du jour de la Conférence la question de sa révision totale ou partielle.

#### Article 13

1. Au cas où la Conférence adopterait une nouvelle convention portant révision totale ou partielle de la présente convention, et à moins que la nouvelle convention ne dispense autrement, la ratification par un Membre de la nouvelle convention portant révision entraînerait de plein droit, nonobstant l'article 9 ci-dessous, dénonciation immédiate de la présente convention, sous réserve que la nouvelle convention portant révision soit entrée en vigueur.

b) à partir de la date de l'entrée en vigueur de la nouvelle convention portant révision, la présente convention cesserait d'être ouverte à la ratification des Membres.

Les versions française et anglaise du texte de la présente convention sont également jointes.

Le texte qui précède est le texte authentique de la Convention sur le diplôme de capacité des constructeurs de navires, 1946, telle qu'elle a été modifiée par la Convention portant révision des articles finaux, 1946.

Le texte original de la convention fut authentiqué le 30 août 1946 par les signatures de M. Henry M. Jackson, Président de la Conférence et de M. Edward J. Phelan, Directeur du Bureau international du Travail.

La convention n'était pas entrée en vigueur le 1<sup>er</sup> janvier 1947.

EN FOI DE QUOI j'ai authentiqué par ma signature en application des dispositions de l'article 6 de la Convention portant révision des articles finaux, 1946, ce trente et unième jour d'août 1948, deux exemplaires originaux du texte de la convention telle qu'elle a été modifiée.

EDWARD PHELAN,  
Directeur général  
du Bureau international du Travail.

(参考)

この条約は、前文及び十四箇条から成り、前半は条約の適用の対象となる船舶の範囲、船舶料理士の定義、資格証明書等に関する実質的規定であり、第七条以下の最終規定において条約の批准、効力発生、廃棄、改正等について規定している。